

School Lunch Time

お茶の水女子大学附属小学校
平成 27 年 2 月 26 日
栄養教諭 足立愛美

あっと言う間に、今年度の給食もあと 1 か月となりました。今月、給食委員が全校の子どもたちに「好きな給食アンケート」を実施しました。そのアンケートに、今年たった一度だけ出した料理を書いてくれた子もいました。いろんな料理や味に出会ってほしいという思いから、できるだけ同じ料理を何度も出さないようにしているのですが、その一度の出会いを覚えていてくれたことがとてもうれしく思います。給食は、自分の好きな味、苦手な味を知る機会でもあり、食べたことのない料理に出会う機会でもあります。子どもたちが、自分の食べるものを意識し、食について考えるきっかけづくりを大切にしていきたいです。

給食の片づけ DVD

先月、本校の給食の片づけの様子分かる DVD を全校で観る機会を作りました。この DVD はスーパー食育スクール事業の取り組みの一つとして、お茶の水女子大学公衆栄養学研究室と連携して作成したものです。

今年度のはじめに、担任の教員から給食指導について聞き取りを行ったところ、「お皿の上に食べかすが残ったままお皿を重ねてしまう」などの、子どもたちの給食の後片づけの仕方についての課題がいくつかの学年からあがってきました。

このことは、子どもたちにとって給食室での作業が見えないことが一つの要因になっているように感じました。本校の給食室は、子どもたちのいる校舎とは離れた場所にあり、さらに給食室に窓が一つもないため、給食を作る様子や片づける様子を子どもたちが目にする機会がありません。

そこで、今年度子どもたちが給食室をより身近に感じられるような取り組みを行ってきました。一つは、以前このおたよりでも紹介したように、調理員さんが教室を訪問し、顔を合わせる機会を作ることです。もう一つは今回の取り組みで、食べ終わった後の食器が給食室でどのように片づけられているか、その様子分かるようにすることです。



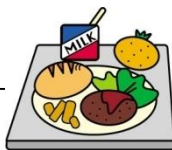
映像を見た子どもたちは、食器や食缶の洗浄が、想像以上に人の手によって行われていること、そして 1 日に使う食器の枚数の多さに驚いていました。DVD を見たあと、いつもよりも片づけを丁寧に行う子どもたちの姿が見られたほか、昼休みに給食の片づけを手伝いたいと栄養教諭に申し出る子もいました。

また、今度は給食を作っているところの映像が見たいというリクエストももらいました。今後も、継続して給食室が身近に感じられるように取り組んでいきたいと思っています。

好きな給食アンケート

給食委員会が今月、全校の子どもたちに好きな給食のアンケート調査を実施しました。給食委員が集計するのを見ていて、子どもたちの書いた料理が実にさまざまなことに驚きました。人によって味の好みが変わること、そしてお茶小にはそれを認め合う雰囲気があることを改めて感じました。

ただ、中でも、群を抜いている料理がいくつかありました。3 月の給食に、アンケートで上位にあがったこれらの料理を取り入れます。給食委員の意向で、献立表ではひみつにしていますが、お子さんと材料から推理してみてください。



・・・給食食材の産地・・・

2 月 23 日 (月) 献立は右の「今月の給食から」参照

米 (青森) たまねぎ (北海道) にんじん (千葉) しょうが (高知)
キャベツ (愛知) きゅうり (群馬) にんにく (青森) パセリ (千葉)
パプリカ (ニュージーランド) いちご (佐賀) 豚肉 (茨城)

今月の給食から

2 月 23 日 (月)

【トマトライスのミートソースかけ、カラフルサラダ、いちご】



2 月 24 日 (火)

【ごはん、銀だらの西京焼き、白と緑の盛り合わせ、白野菜のみそ汁】



この 2 日間は「紅白給食合戦」というテーマで給食委員が考えた献立でした。1 日目が「赤」で洋食、2 日目が「白」で和食を意識し、お皿の上の料理をその色で統一するようにしました。

とにかく色にこだわった子どもたち、「赤」の献立では、サラダを暖色系の見ためにするために、キャベツの量を減らし、揚げたにんじんを入れることにしました。「白」の献立では、はじめに考えた献立ではエネルギーが足りなかったため、みそ汁に豆腐やじゃがいも（どちらも白っぽい色をしていますね）を加えて改善しました。

栄養教諭が献立を考える上で配慮していることの一つに、彩りがあります。見ためもおいしさのうちだと考え、できあがりの色をイメージしながら料理に使う食材を考えていきます。ですから、すべての料理を同じ色で統一することなど、考えたこともありませんでした。子どもたちの提案を聞いて、自分の中の給食の概念が塗り替えられたような気がしました。もちろん、給食として大切にしたい部分は伝えていきますが、献立を考える子どもたちの発想が非常に新鮮で、毎回わくわくしています。

「紅白給食合戦」ということで、2 日間の給食のどちらがよかったか、各クラスにアンケートをとるそうです。給食を食べた子どもたちがどう思ったのか、楽しみです。